



沼倉 瞳 隊員の 地域おこし協力隊通信

「厚田のぶたまん」を P R しました！

1 月 7 日～8 日に J A いしかり地物市場とれのさどで、1 月 20 日～22 日に札幌駅の北海道ごさんこプラザで、厚田こだわり隊の隊員さんと一緒に「厚田のぶたまん」の試食 P R と販売のお手伝いをしました。

「厚田のぶたまん」とは、オリジナルのたれで味付けした望来豚の挽肉のあんをもちもちの皮で包んだもの。厚田こだわり隊で開発し、昨年 5 月から厚田区内外のイベント等で販売しています。

P R では、たくさんの方に試食していただきました。試食をきっかけに厚田のまちの話に広がり、厚田全体の宣伝にもつながりました。

「厚田のぶたまん」には、開発・P R・販売という、商品を世に出す一連の流れを経験させてもらえました。そこで感じたことは、P R の大切さです。どんなに良い商品を開発しても、お店に置くだけではなかなか売れません。他にも魅力的な商品がたくさんあるからです。商品の魅力や開発の思

いを伝えて、ようやく手に取ってもらえます。

また、インターネットやチラシなどたくさんの方の P R 方法がありますが、ひとりひとりのお客様とゆっくりお話ができて、納得した上で商品を買っていただける対面販売が一番思いを伝えられることがわかりました。

どんなお客様が購入していただけるのか予想と結果が違うこともありました。それにより商品の新たな可能性を発見したり、場所やお客様によって宣伝文句を変えたりしました。

将来、新たな商品を開発したいと思うことがあるかもしれません。そのときにこの経験は必ず役に立つと思います。そんな貴重な体験をさせてくれた厚田こだわり隊とぶたまんに感謝です。



北石狩体験観光パンフレットを製作中です

道の駅開設準備室の吉田さんから、「協力隊の経験を活かしては？」と厚田と浜益を中心とした体験観光パンフレット作成のお話があり、製作を進めています。「体験観光」といっても、料金を支払って特別な体験をするものではありません。私が厚田で過ごした 3 年間の日常の中で経験した感動体験から珍しいものや面白いものをピックアップして紹介します。このパンフレットを見てくれるお客様に、私と同じような体験をしてほしい、そしてもっと深く厚田を知ってもらいたい、という思いがあります。

その感動を紙面でどれだけ表現できるのか



が難しいところですが、思いを少しでも伝えられたらと思っています。パンフレットは 3 月中に完成の予定です。

◀ 毎日の夕日も私にとって感動体験です

「厚田のぶたまん」アレンジメニュー

厚田こだわり隊が開発した「厚田のぶたまん」。今日はこのぶたまんのアレンジメニューを紹介します。

フライパンに油（ごま油でも OK！）をしき、ぶたまんをフライ返しなどで押し付けながら両面を焼きます。あまり押し付けすぎると中身が出てきてしまうので要注意。こんがり焦げ目がついたら、望来豚おやきのできあがり。外はカリカリ、中はもちり。お好みの調味料でお召し上がりください。

